

かがやき・なら

特 集 : 夜間中学

2021.7
No.252

奈良市立春日中学校夜間学級

フォーカス 西畑 保さん 2

活動レポート 奈良県夜間中学連絡協議会 4

トピックス 奈良県にある6つの夜間中学 5
差別をなくす強調月間 6

コラム 山本 直子さん 7

インフォメーション 8



夜間中学 あってはいけなけれど無くってはならない学校

本来、教育を受ける機会というのは、すべての人に平等に保障されるものです。しかし、残念ながら、そのような状況に必ずしもなっていません。教育を受けられなかった方々の学ぶ場として、夜間中学というのは無くってはならない学校になっています。夜間中学は、戦争や部落差別の問題をはじめとして、いろいろな事情で義務教育を受ける権利を保障されなかった方々が、その権利を取り戻すために生まれた学校です。

奈良市立春日中学校夜間学級の卒業生である西畑保さんにお話を伺いました。

■少年時代のお話を聞かせてください。

母が離婚して三重県の紀和町（現在の熊野市）の実家へ戻っていたとき、お腹の中には9ヶ月の僕がいました。母に再婚話があり、和歌山県の熊野川町（現在の新宮市）に住む父と結婚しました。父は、山奥で炭焼きをしている人でした。僕が生まれてから、母はすぐに妊娠しました。僕が男でしたから、次に生まれてくる子が男の子だったら、父が弟の方をかわいがると思って母は心配し、毎日、女の子が生まれてくるようにと祈っていたそうです。生まれてきたのは男の子。母はがっくりしたそうです。父には前の妻との子もいて、最終的には5人の姉弟となりました。山奥の炭焼き小屋から小学校まで遠く、夏場しか学校に行けませんでした。

1946年、小学校2年生のとき、当時の100円（現在の価値で2万円ほど）を教室でなくしてしまいました。お金はすぐに見つかりましたが、自分のものだと言っても信じてもらえません。雁皮の樹皮を干して、売って貯めたお金でしたが、廊下に立たされ、「嘘つき」と言って唾を吐いて通る子もいました。3日ほど休んで学校へ行くと、みんなが机の上の物を隠しました。それから1週間ほどして学校に行ったら、僕の机が廊下に出されていました。そこから学校へ行かず、炭焼きの仕事を手伝っていました。



■働き始めた頃のお話を聞かせてください。

12歳のとき、隣のおばちゃんのお世話で三重県熊野市の木本のパン屋さんに働きに行きました。そのときに、初めて焼きたてのパンを食べることができ、本当に楽しかったです。そこで豆腐屋さんで働く11歳の友達もできて、「俺は将来、豆腐屋を開きたい」という話を聞きました。僕の夢は何かと考え

ながら、2年間働きました。14歳のとき、奈良県の御所市に働きに行きました。そこで働いていたときに初めて読み書きのことで苦労しました。意地悪な先輩がいて、辞書で調べて、わざわざ難しい漢字で「蝦」などと書いたメモを渡され買い物に行かされました。一番辛かったのは電話で聞くことでした。お寿司と吸い物と茶碗蒸しなど、たくさんあると覚えられないし、相手の電話番号も聞き直していました。優しい先輩は、電話のとき横でメモを書いてくれました。そこで2、3年働いて、あるとき、映画館の前に行き帰ろうとしたとき、映画館の前に寿司屋さんがあり、店員募集と書いてありました。募集という字は読めなかったけど、これは店員募集のことかなと思って、働かせてくださいと言ったら、名前と住所を書いてくれと言われました。僕は書けるはずがありません。字が書けない人は雇えないとも言われましたが、帰りかけようとしたとき、働いてみるか、と言われて、そこで働くことになりました。しかし、毎日ほとんど自転車での出前でした。それから大阪府の店を何回か変わりました。職場で、運転免許や調理師の免許の話や聞いたときに、僕には夢のまた夢だと思っていました。けれども店の大将が調理師免許の試験を受けさせてくれ、○×の試験だったから通りました。その後、大阪府の泉佐野市に働きに行っていたとき、ちょうど関西空港ができる前で、店のお客さんに反対の署名を頼まれました。名前を書かず、喧嘩になったこともあります。それからずっとお店を転々としていましたが、30歳の頃、奈良市のお寿司屋さんで働くことになりました。この店で働いている人たちは、僕が読み書きができないことを本当に理解してくれました。

■結婚された頃のお話を聞かせてください。

読み書きができないから結婚は無理だと思っていましたが、35歳になって、ある方のお世話で見合いをすることになりました。見合いの席で素晴らしい

人が座っていて、一目惚れしたわけです。笑顔の素敵な人です。話をしていたら、本当に初めて好きになって、仲人さんをお願いしますと言いました。なかなか返事が来なくて、だめかと思っていましたが、一週間するとよい返事をいただきました。僕が読み書きできないということを仲人さんにも相手にも話せず、隠したまま結婚しました。結婚後も、毎日、読み書きができないことが頭の中にありました。あるとき妻に、「お父さん、そこに自分の名前書いて。」と言われました。そのとき、ばれたのです。自分が字を書けないことで相手もびっくりしていたけれど、これで結婚も終わりかなと思ったのですが、妻が「辛かったです。一緒に頑張りましょう。」と言ってくれました。それから銀行へ行くのも、どこへ行くのも妻と一緒にきました。妻には、「せめて私の名前とあんたの名前と住所ぐらいは書いてほしい。」と言われ毎日練習です。それがとても嫌でした。そのうち子どもができました。子どもができて市役所へ出生届を出すとき、どうしようかなと思って、包帯を手にも巻いて代筆を頼みました。ちょっと待ちましたけど、届を出すことができました。やはり自分の子どもの名前は自分の手で書きたいと思いましたよ。それからすぐ二人目の子どもができて、同じようにしました。子どもが小学校に行きだしたときに、「お父ちゃんが字を書いているのをみたことがない。」と言われたのが、一番こたえました。妻が「お父ちゃんは、家族のために働いているの。お父ちゃんは苦労して、学校へ行くことができなかったのよ。」とうまく言うてくれました。子どもも納得して、妻のおかげで親子の仲も良く、子どもは親思いに育ちました。

■夜間中学との出会いを教えてください。

夜9時に仕事を終えて帰るとき、春日中学校夜間学級の前をいつも通っていました。あるとき年配の方が鞆を提げて出てきました。「ここは、何をするといいですか。」と聞いたら、ここは夜間中学で、勉強するところだと教えてもらいました。定年の65歳になったら、僕はこの夜間中学へ行こうと決めました。定年になってすぐに入学の手続きをして、妻と子どもの前で、「夜間中学に行く。」と言ったら、とても喜んでくれました。

学校に入学して2・3年たつと、新聞を読むのが好きになりました。新聞を読んでいたら、住友信託銀行（現在の三井住友信託銀行）が、妻か

ら夫へ、夫から妻へのラブレターの募集をしていました。はがき1枚ですが、本当に難しいと思いました。「今、夜間中学で勉強しています。勉強できたら、妻に愛を込めたラブレター書きませ。」と書いて応募したのです。夢にも思いませんでしたが、入選しました。それがきっかけで、文章を書くのが好きになりました。先生の勧めもあって、部落解放文学賞などに応募して、5回ほど入選しました。

僕は、元々、子どもと妻に手紙を書こうと思って夜間中学に入学したのです。そして、妻へのラブレターを書こうと思って、便せん7枚、初めて書いたのです。クリスマスの日に渡そうと思って、11月頃からずっと書いて、やっとクリスマスの日に渡すことができました。結婚して、35年かかったわけですが、妻に手紙を書くことに。手紙を渡したとき、妻は喜んでくれました。その頃、たまたま新聞記者が学校に来ていて、記事にしたいと言って新聞に載せてくれました。それがきっかけになって、テレビなどにも出していただきました。



僕は、夜間中学に入学するまでは、自分の名前も住所も書けませんでした。夜間中学に行ったら初めて自分の名前を書いたときは、本当にうれしかったことを今でも覚えています。夜間中学へ行ったらたくさんの出会いがありました。本当にありがたく思っています。妻は亡くなりましたが、今、僕は85歳、孫も5人いて、本当に幸せです。

今も奈良市古市の識字学級で学び続けています。

プロフィール

にしは たもつ 西畑 保 さん（表紙の人）

- 奈良市立春日中学校夜間学級卒業生
- 春日夜間中学を育てる会 会長

■夜間中学とは

夜間中学は、いろいろな理由で小中学校へ行くことができなかった方が「学び」を取り戻す所です。夜間中学には公立の夜間中学と自主夜間中学があります。どちらの夜間中学も日本人だけでなく、いろいろな国にルーツのある人が学んでいます。また生徒さんの年齢層は幅広く、最近では若い人も増えてきています。奈良県内の6校の夜間中学は、見学が可能です。興味を持たれた方は、事前に、各中学校へ連絡をしてから、見学に来てください。

■公立の夜間中学について

奈良県内の公立夜間中学は、奈良市立春日中学校夜間学級・天理市立北中学校夜間学級・橿原市立畝傍中学校夜間学級の3校です。日々の学習では、できるだけ生徒さんのニーズに合わせた形で、学年に関係なく小さなグループに分けて授業をしています。公立夜間中学には学齢期（15歳まで）の人の入学はできませんが、中学校を卒業されていない人はもちろんのこと、中学校を卒業したけれども不登校などで、ほとんど勉強できなかった人も入学することが可能です。春日中学校夜間学級では、全国的に珍しく夜の部とともに昼の部の授業も行っています。



自主夜間中学の学習の様子

奈良県内の夜間中学

■自主夜間中学について

奈良県内の自主夜間中学は、吉野自主夜間中学・西和自主夜間中学・宇陀自主夜間中学の3校です。日本人だけでなく、いろいろな国・立場の人が、生活に必要な日本語の会話や読み書きを勉強しています。また学齢期の子どもたちが高校受験のための勉強や、昼間の小学校や中学校の宿題など、それぞれ目的を持って学んでいます。自主夜間中学の先生はすべてボランティアの方です。生徒さんは先生と1対1で学習しています。自主夜間中学では学齢期（15歳まで）の人や、外国からの実習生の方が多く勉強しているのも特徴です。

■奈良県内の夜間中学の活動について

奈良県内の夜間中学の特徴は、全6校間で常に連携を取って活動をしていることです。それぞれの夜間中学では、日々の学習とともに学校行事や生徒会活動を行って、他の学校と合同で活動することもあります。また、奈良県夜間中学研究集会を開いて、生徒さん自身の日々の取組を基にした作文発表や先生方、支援団体の皆さんによる話し合いも実施しています。そのほか教育環境をよくすること、6校間の交流を深めることを目的として、月に1回、定期的に奈良県夜間中学連絡協議会を行っています。

奈良県夜間中学連絡協議会

奈良県夜間中学連絡協議会は、奈良県内の夜間中学6校とそれぞれの学校の支援団体の代表で構成されています。

(各夜間中学の連絡先は、5ページに掲載しています。)

奈良県にある6つの夜間中学

Six places with junior high school evening classes in Nara

奈良県里有六所夜間中学校。

나라현에 있는 여섯 야간 부 중학교

Seis escolas ginasiais de período noturno em Nara



**奈良市立
春日中学校夜間学級**

■学習日 月曜日～金曜日 17:30～21:00
■奈良市西木辻町 67
■0742-34-5337(奈良市教育委員会)



**天理市立
北中学校夜間学級**

■学習日 月曜日～金曜日 17:30～21:00
■天理市丹波市町 169-1
■0743-63-1001(天理市教育委員会)



**橿原市立
畝傍中学校夜間学級**

■学習日 月曜日～金曜日 17:30～21:00
■橿原市大久保町 156
■0744-29-5912(橿原市教育委員会)



吉野自主夜間中学

■学習日 月曜日・金曜日 18:00～21:00
■大淀町中央公民館
吉野郡大淀町下淵 948
■0747-25-2661



西和自主夜間中学

■学習日 火曜日・木曜日 18:00～21:00
■王寺町地域交流センター
北葛城郡王寺町久度 2-2-1-501
■0745-74-5827・090-3284-3576



宇陀自主夜間中学

■学習日 月曜日 18:00～21:00
■宇陀市榛原総合センター
宇陀市榛原萩原 2610-1
■090-6378-5931

入学を希望される方は、お住まいの市町村の教育委員会、上記連絡先、または奈良県教育委員会事務局学校教育課 (0742-27-9854) までお問い合わせください。

7月は「差別をなくす強調月間」です

7月の「差別をなくす強調月間」は昭和44(1969)年7月10日に「同和対策事業特別措置法」(特措法)が公布、施行されたことを記念し、基本的人権が尊重される差別のない、自由で平等な社会の実現をめざして制定されました。

昭和47(1972)年7月に、「差別をなくす週間」として始まり、昭和57(1982)年からは「差別をなくす強調月間」として人権尊重意識の普及やさまざまな人権問題の解決に取り組んでいます。

例年、県では人権啓発ポスター・標語優秀作品展や人権に関する新聞広告などを通して啓発活動を行ってきました。また、県内市町村では、人権に関する講演会や映画上映、街頭啓発などの行事を行ってきました。これからも、みなさんとともに人権の問題を自分のこととして考える取組を行っていきます。(今年度の期間中の行事については奈良県人権施策課のホームページをご覧ください。)

「差別をなくす強調月間」啓発ポスター



『そのままであなたでいてほしい
生まれてきたことを楽しむために』

「個性や能力が発揮できる社会づくり」「違いを豊かさとして認め合う多文化共生と包摂の社会づくり」「自己の存在を確かめることができる社会づくり」を推進し、「豊かな人権文化の創造」を目指す、という思いを込めました。

奈良県人権施策課相談窓口

人権相談窓口

TEL : 0742-27-8726
FAX : 0742-27-8721

月曜から金曜 8:30 ~ 17:15
(祝日・年末年始を除く)

◇だまって我慢していませんか？

地域社会、職場、家庭、学校など、いろいろな場所で生活する中で、「何か変だな?」「これって人権侵害?」と感じながらも、じっと我慢したり、そのままにしたりして、しんどくなることってありませんか。

「人権相談窓口」というと堅苦しく感じられるかもしれませんが、相談員がお話を伺いながら、少しでもほっとして、自分らしく日常生活を送ることができるようにお手伝いします。必要に応じて、問題解決に向けて他の相談機関を紹介したり、おつなぎしたりすることもできます。

どうぞお気軽にご利用ください。

相談は無料

秘密厳守します

来所相談OK



てんいち先生



—自主夜間中学とともに—

西和に夜間中学をつくる会 事務局長 山本 直子 さん

■自主夜間中学に関わっていくことになる

私は、1991年に斑鳩町の町議会議員になり、3期12年務めました。斑鳩町には当時、最大手の人材派遣会社があり、300名ぐらいの外国人労働者が雇用されていました。多くはブラジル・ペルー・ボリビアといった南米の国の日系人です。労働者のほとんどが、カトリックの人たちで、奈良県河合町の西大和カトリックセンターに日曜日ごとのミサに通っておられました。そこで劣悪な労働環境や、ある日突然解雇されたなど様々な困りごとを相談されていました。

あるとき、私はその教会の信徒さんから、その話を聞き、それがきっかけで、教会に足繁く通うようになり、私の人生は激変しました。彼らの生活援助をするため、仲間と外国人労働者奈良保証人バンクの立ち上げに参加しました。その中で、どうしても解決できないことがあり、増え続ける外国人労働者とその家族の皆さんの日本語支援が課題となってきたのです。

そのことがきっかけで、私は自主夜間中学に携わることになりました。私の背中を押してくれたのは、当時の奈良県夜間中学連絡協議会の代表をしていた先生です。「西和地域に夜間中学を作ろうと思う、ついては山本さん一緒にやってくれませんか。」ということで、西和自主夜間中学の設立に関わることになりました。

■自主夜間中学設立時の苦勞

設立に向け、1年間を準備期間としました。そこでは、どんな人たちが自主夜間中学を必要としているのか、実際に生徒さんを募集する、スタッフを募集するという作業がありましたが、そこは奈良県夜間中学連絡協議会の方のサポートがありました。あとは、場所です。この西和地域で開校したいという思いは皆共通していましたが、やはり王寺町だろうと。なぜ王寺町かというと、交通の要所でありJR でも近鉄でも通える便利なところだからです。

具体的に王寺町のどこでするのかという話になって、助けていただいたのが、当時の斑鳩町の町長さんです。王寺町の町長さんに場所の提供をご相談していただいたところ、快諾いただ

き、当時の王寺町中央公民館を貸していただくことになりました。それ以降、私たちは、今は王寺町地域交流センターにおいて、火曜日・木曜日に開校中です。

■生徒さんとの学び

生徒さんとの学びの中で、私が今までずっと感じてきたことは、教える教えられるという関係では決してないということです。本当にいろんな場面で生徒さんから教えられることは、スタッフの側にもたくさんあります。だからこそ、スタッフの皆さんは自分の能力を無償で提供し、自分の時間も無償で提供してまで、生徒さんと関わろうとしてくれています。これは私も一緒に、そこが魅力だから継続してやっていけているのです。

今はどちらかと言うと、私はコーディネートする立場にいます。いろんな生徒さんを見てみるとその方が一生懸命生きている生き様も、学習をしているその場面で垣間見ることが出来ます。勉強の形式がマンツーマンなので、生徒さんの中にスタッフの人たちが深く入り込んでいく姿勢をずっと見てきて、素晴らしいと思います。生徒さんも、もちろんスタッフの先生のことを慕ってくれていますし、スタッフの人たちもその一人の生徒さんをすごく大事にする、ただ単に教える教えられるという関係だけにしていないところに、生徒さんの力ってすごい、学びの力ってすごいと思います。

私は、奈良県に自主夜間中学があるということを知ってほしい。勉強したいという思いがあれば、どのような方にも来ていただきたいですし、そういう存在でありたいと思っています。私たちは、誰一人置き去りにしない教育を求めているのです。

プロフィール 山本 直子 さん

- ・西和に夜間中学をつくる会 事務局長
- ・奈良県夜間中学連絡協議会 代表
- ・外国人労働者奈良保証人バンク 事務局長
- ・「女性への暴力」ホットライン奈良 事務局長

令和3(2021)年度 人権啓発ポスター・標語優秀作品展示

イベント
1

令和2(2020)年10月～令和3(2021)年4月23日までに募集した『人権啓発ポスター・標語』から選ばれた優秀作品の展示を行います。ぜひご覧ください。

- ① ~~県庁屋上ギャラリー(奈良市)~~
~~7月5日(月)～7月9日(金)~~
- ② 県産業会館県政情報サロン(大和高田市)
7月19日(月)～7月30日(金)
- ③ 県立図書情報館エントランスホール(奈良市)
7月13日(火)～7月25日(日)

※②はコピー展示。

※①②は8:30～17:15

(初日は12:00から。最終日は15:00まで。)



昨年度の作品展示の様子(県立図書情報館)

令和3(2021)年度 人権啓発ポスター・ 標語優秀作品決定！

お知らせ

差別をなくす強調月間にむけて「人権啓発ポスター・標語」を募集しました。応募総数、ポスター14,174点、標語13,913点の中から、ポスター30点、標語10点が優秀作品として選定されました。優秀作品は、「県民だより奈良」に順次掲載されます。是非、ご覧ください。

また、奈良県人権施策課のホームページや情報誌等にも掲載し、県民のみなさんへの啓発に役立てる予定です。作者の想いを感じ、人権について考えていただくきっかけとなることを願っています。

人権メッセージ募集

お知らせ

県では、人権について考えるきっかけとして人権メッセージを募集しています。今年度のテーマは「その勇気から」です。入賞作品をまとめた冊子も作成する予定です。ぜひご応募ください。詳しくは、奈良県人権施策課ホームページをご覧ください。



「奈良県人権メッセージ作品集Vol. 9」
(令和2年度作成)

発行日 令和3(2021)年7月
発行 奈良県文化・教育・くらし創造部人権施策課
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
TEL 0742-27-8719 FAX 0742-27-8721
<http://www.pref.nara.jp/1657.htm>

奈良県立同和問題関係 史料センター 令和3年度史料展示

イベント
2

「大和の地域社会と被差別民衆 —新しい地域社会の創造をめざして—」

- ◆期間：令和3(2021)年4月1日(木)
～令和4(2022)年3月31日(木)
9時～17時(土・日・祝日を除く)
※臨時休館することがあるため、ホームページ・電話等でご確認ください。
- ◆会場：奈良県立同和問題関係史料センター
展示室(奈良市大安寺1-23-1)
- ◆アクセス：近鉄奈良駅・JR奈良駅から奈良交通バス[大安寺]下車、南へ200m
- ◆お問い合わせ：
奈良県立同和問題関係史料センター
TEL 0742-64-1488

